

科目ナンバー：BC5154

授業コード：2230501500

講義科目名称：認知症ケア論

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	看護師課程選択必修
担当教員			
◎原等子、関睦美、横川史穂子、伊藤ひかる、青山拓夢			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 15時間		
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】
	◎ 原 等子	新潟県立看護大学	303	naohara@niigata-cn.ac.jp
	関 睦美	新潟県立看護大学	305	museki@niigata-cn.ac.jp
	横川 史穂子	新潟県立看護大学	204	yokokawa@niigata-cn.ac.jp
	伊藤 ひかる	新潟県立看護大学	共同研究室4	hitou@niigata-cn.ac.jp
	青山拓夢	新潟県立看護大学	共同研究室4	taaoyama@niigata-cn.ac.jp
	実務経験のある教員が担当します			
	【本学の科目区分】 専門科目			
	【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程			
	【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ○ ◎ ○ ○ ○			

到達目標	1. 「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」（2024施行）にある「新しい認知症観」について、説明できる。 2. 認知症にやさしい社会とは、認知症とともに生きる社会とは、どのような社会なのか、自らの理想と現実の相違について説明できる。 3. 看護職として、これから関与する保健・医療・福祉における認知症を持つ人と家族への支援のあり方について、自身の考えを述べることができる。
------	---

授業概要	認知症ケアのための認知機能・生活アセスメントについて概観する。 認知症にやさしい地域づくりについてディスカッションする。 若年期・老年期の認知症ケア、一般病棟・精神科病棟において認知症があっても安心して療養できる支援、介護保険施設を含む自宅ではない在宅施設における支援、在宅支援、介護家族支援等療養生活の場の違いなどによる看護について考える。
------	---

授業計画	1 4/9Ⅱ	授業内容 授業形態：講義 対面 学修課題：認知症の人への支援について考える 学修内容：認知症ケアの歴史，共生社会の実現を推進するための認知症基本法，当事者（認知症の人と家族）の参画のあり方 事前学修：参考書認知症の人々の看護を確認しておきましょう。 事後学修：認知症の人への接し方について、調べてみましょう。 備考：原
	2 4/23Ⅱ	授業内容 授業形態：講義 対面 学習課題：認知症の人へのかかわり方 学習内容：認知症の人とのコミュニケーション法 事前学修：認知症の人への接し方について、調べてまとめてみましょう。 事後学修：認知症の人への接し方のポイントについて整理しておきましょう。 備考：横川、青山、伊藤
	3 5/14Ⅲ	授業内容 授業形態：講義 対面 学習課題：認知症の人の思い，ニーズを知る 学習内容：ゲストスピーカー 認知症の本人から聴く 丹野智文氏 著書 笑顔で生きる，認知症の私から見える社会 等 （映画オレンジランプのモデルとなった） 事前学修：参考図書丹野智文氏、山中しのぶ氏の書籍を確認しましょう。このほか、認知症の人が書いた手記も確認してみましょう。 事後学修：認知症とともに生きる社会について、認知症の人の視点から話を聞き、考え、社会として何が必要なのか考えてみましょう。 備考：原 この講義は、聴講自由です。未履修者も是非ご参加ください

	4 5/14IV 授業内容 授業形態：講義 対面 学習課題：認知症の人の思い，ニーズを知る 学習内容：ゲストスピーカー 認知症の本人から聴く 丹野智文氏 著書 笑顔で生きる，認知症の私から見える社会 等 (映画オレンジランプのモデルとなった) 事前学修：参考図書丹野智文氏、山中しのぶ氏の書籍を確認しましょう。このほか、認知症の人が書いた手記も確認してみましょう。 事後学修：認知症とともに生きる社会について、認知症の人の視点から話を聞き、考え、社会として何が必要なのか考えてみましょう。 備考：原 この講義は、聴講自由です。未履修者も是非ご参加ください 5 5/22III 授業内容 授業形態：講義 対面 学習課題：認知症の人の家族の思い，ニーズを知る 学習内容：ゲストスピーカー 認知症の人の家族（若年認知症の人の家族，男性介護，老老介護）から聴く 小林裕之氏 男性介護，妻とともに過ごす 東條紀子氏 夫とともに過ごす 丸山明美氏 若年認知症の娘，夫とともに過ごす 事前学修：参考図書認知症の人の家族の会、松本一生氏の書籍を確認しましょう。このほか、認知症の人の家族が書いた手記や家族支援についての書籍などを確認してみましょう。 事後学修：認知症の人の家族への支援について、認知症の人の支援との関係を考えつつ、整理してみましょう。 備考：原 この講義は、聴講自由です。未履修者も是非ご参加ください学習 6 5/22IV 授業内容 授業形態：講義 対面 学習課題：認知症の人の家族の思い，ニーズを知る 学習内容：ゲストスピーカー 認知症の人の家族（若年認知症の人の家族，男性介護，老老介護）から聴く 小林裕之氏 男性介護，妻とともに過ごす 東條紀子氏 夫とともに過ごす 丸山明美氏 若年認知症の娘，夫とともに過ごす 事前学修：参考図書認知症の人の家族の会、松本一生氏の書籍を確認しましょう。このほか、認知症の人の家族が書いた手記や家族支援についての書籍などを確認してみましょう。 事後学修：認知症の人の家族への支援について、認知症の人の支援との関係を考えつつ、整理してみましょう。 備考：原 この講義は、聴講自由です。未履修者も是非ご参加ください学習 7 5/28III 授業内容 授業形態：討論 対面 学修課題：認知症と保健・医療・福祉とのかかわり 学修内容：地域・在宅における認知症の人への対応，病院・精神科・施設における認知症の人への対応 認知症とともに生きる 認知症の人と家族の尊厳を高める支援を考える 事前学修：関心のある療養の場におけるケア方法について調べてみましょう。 事後学修：認知症の人の専門職としての対応方法について整理してみましょう。 備考：横川、青山、伊藤、他 8 5/28IV 授業内容 授業形態：講義 対面 学習課題：認知症の人と家族へのかかわり 学修内容：本科目で学んだ内容を踏まえ、認知症の人と家族へのかかわりの課題について整理する。 事前学修：自身の認知症ケアへの考えを整理してみましょう。 事後学修：今後、働く場における認知症の人と家族へのかかわりのポイントを整理してみましょう。 備考：全員
評価方法、評価基準	到達目標1～3に対し、レポート学習課題100%（ワークレポート、テーマレポート）で評価する。詳細な配分は初回授業時に説明する。
必携図書	特に指定しない
参考図書・資料等	1) 中島紀恵子編（2024）：認知症の人びとの看護 第4版，医歯薬出版株式会社。 2) 丹野智文著（2025）：認知症の私が今を楽しく生きる理由，中央法規。 3) 山中しのぶ著（2025）：ひとりじゃないき 認知症と診断された私がデイサービスを作る理由，中央法規。 4) 認知症の人と家族の会（2020）：認知症介護の悩み引き出し52「家族の会」の“つどい”は知恵の宝庫。 5) 松本一生著（2018）：あなたがいるだけでこの世は意味がある，ワールドプランニング。 6) 伊庭崇他編（2015）：旅のことば 認知症とともにによりよく生きるヒント，丸善出版。 7) 金子智紀他著（2022）：ともに生きることば 高齢者向けホームのケアと場づくりのヒント。 他，講義で提示
受講、課題、資料配布等のルール	講義は基本ゼミナール方式で進めたいと考えています。皆さんの事前学習などから、積極的なご参加をお願いします。
教員からのメッセージ	「認知症基本法」にある「新しい認知症観」とは、まだ病院や福祉施設，地域の中では一部にしか知られていない考え方ですが，認知症の人と家族の人権，尊厳を守るために，私たち看護職はしっかりとこの考え方を身に着けていく必要があるものです。ともに学んでいきましょう。
オフィスアワー	全教員 在室時対応可能 メール等で対応可能